

【3-2】日常生活支え合い実践事業

坂口公民館里地里山ふれあい事業 (越前市)

基礎情報

実施地域	越前市坂口地区
実施主体	越前市坂口公民館
所在地	越前市湯谷町24-18-1
代表者	館長 富田 博文



平成23年度の事業概要

子どもから高齢者までが、地域で明るく元気に生きがいをもって暮らせるよう、公民館において多様な学びと交流の場を提供する。

特に足腰の弱い高齢者、引きこもりがちな高齢者、身体に障害のある方にも足を運んでもらい、子どもたちとのふれあいや学びの場として公民館を活用してもらおう。

公民館のバリアフリー化

- ・玄関の簡易スロープ設置
- ・トイレ引き戸設置
- ・トイレの縦手摺り取付け
- ・照明スイッチ移設

現在の活動状況

平成24年4月から、更なる高齢者のふれあいの場を実現させるため、ニュースポーツ教室、健康相談会、講演会を拡充し開催。

〈概要〉

ニュースポーツ教室（囲碁ボール・ユニカール・ラージボール・スカットボール・ペタンク）
健康相談サロン、生きがい講演会の実施。

〈維持管理〉

地域団体事業、市町村事業、公民館事業を連携し公民館を拠点に開催。

〈利用状況〉

月、50名程度の利用がある。

事業の実績、成果

高齢者がふれあいの場に参加し、人と出会うことで身近な生活情報や地域情報を得られることから、参加意欲の向上が見られる。

工夫した点

- ・いつでも誰でもが参加できるよう、ニュースポーツの開催日を増やした。
- ・参加者の声にも耳を傾け、取り組み内容に取り入れるようにした。
 - ・区長、民生委員、福祉推進員から、ふれあいの場への誘いをかけてもらうなど一人でも多くの方が参加できるように努めた。



事業の財源

光熱費は市負担、運営費は市事業と公民館事業のタイアップによる。
食糧費などは地域団体助成および個人負担。

課題

坂口地区は、コウノトリをシンボルとした環境にやさしい里地里山の魅力発信に努める地域ですが、少子高齢化が急速に進み深刻な問題となっており、高齢者がこれからも里地里山活動に活躍してもらえるよう、日頃の住民同士の交流と高齢者を支える居場所となるべき取り組みを理解し、それに関わってもらえる人材の発掘が緊急課題です。

今後の目標

今後、高齢者の居場所の拠点としてもっと多くの方々に公民館を利用してもらい、住民同士の顔の見える地域にしていくため、今後も取り組み内容にアイデアを盛り込み、地域住民の元気につなげていきたい。



団体からのメッセージ

人と人のつながりの中で、健康で明るく地域で過ごすために公民館へ足を運んでみてください。

みなさんの毎日が充実し、生きがいを感じる場所になることを願っています。

暖かな陽だまりのようなひとときを過ごしませんか。